



発行 三重県PTA連合会
編集 広報委員会
〒514-0061 津市一身田上津部田1234
三重県総合文化センター内
三重県生涯学習センター2F
TEL 059-233-1163
Eメール mie-pta@pcs.ne.jp

平成29年度を振り返って

会長あいさつ



三重県PTA連合会
会長 松山 安利
(伊賀市/阿山小)

平素はPTA活動にご理解・ご支援をいただいていることを、皆様は厚く御礼申し上げます。

三重県PTA連合会、県内の単位PTA、郡市のPTAとの連携により子どもたち一人一人の笑顔の為に日々活動しています。

子どもたちにとって、安心・安全に学校生活や家庭生活を送れるように、家庭・学校・地域・行政との連携のもと、様々な課題の解決に努力しています。

スローガンに掲げています「成長しよう子どもとともに、広げよう保護者の輪、特に保護者の輪につ

いては、最近、特に孤立する保護者が増えてきているように思います。核家族が増えたということも原因の一つかも知れませんが、「相談する相手がいない」などといった「今さら聞けない」と距離を置く保護者が増えたのではないかと感じます。その代償として、SNSの普及による「見ず知らずの誰だかわからない人」に相談するなどといった少し異様に思える現象が現れています。

三重県PTA連合会では、悩める保護者に少しでも手を差し伸べる意味を込めて、長崎ファミリー

プログラムの三重県版「スマイルワーク」を広めるために、三重県PTA安全互助会と共同でスマイルリーダーの認定講座を行いました。

ご興味のある方は、ぜひ三重県PTA連合会事務局までお尋ねください。

12月2日には、再来年開催予定の日本PTA東海北陸ブロック研究大会三重大会を見据えて、三重県総合文化センターで三重県PTA研究会を行いました。

たくさんの方にご参加いただき、3つの分科会と菊池桃子さんによる記念講演も大盛況で終わることが出来ました。

これも皆様の意識の高さからだと思います。

菊池桃子さんの優しい語り口調には吸い込まれるものがありました。講演の中では、自分の子どものお話の中で「何度か子どもに怒られたことがある」と話されていました。どこかの家でもあることだと思いますが、良かれと思つて手を出しすぎるという事ではおらず、何か抜けたところがあるのかなと思います。だから日々努力・一生勉強のかなと思います。

三重県PTA研究会は、来年度も11月に開催します。

皆様のご参加をよろしく願います。

その翌年には、いよいよ日本PTA東海北陸ブロック研究大会三重大会が開催されます。

オール三重の大会として、たくさんの御協力が必要となつてきます。

何卒、PTA会員の皆様のご協力とご支援をよろしくお願ひします。

すべての家庭において、毎日が笑顔で過ごすことができるようにと願っています。

この1年間を通して、多くのPTA会員の皆様をはじめ、様々な方にご支援・ご尽力いただきまして、心より感謝申し上げます。

家庭教育応援フォーラム開催

家庭教育委員会委員長：海野 淳子

三重県では家庭教育の充実に関する施策として、社会全体で家庭を支える取り組みをスタートさせています。その一環として「家庭教育応援フォーラム」が開催されました。当日はパネリストとして出席させて頂き、ディスカッションの中で家庭教育における現状の問題点と、今後の改善策について述べさせて頂きました。「イクボス」という名称を耳にする機会も増え、男性も育児に参画し、企業も家庭を支え応援するという体制に注目が集まっています。これからの家庭教育の充実の為に、地域の支援と企業の理解が不可欠になってきており、子育て世代が充実した暮らしを送ることが、次世代を担う子どもたちの健全な育ちに大いに有効なのではないかと思います。



平成29年度 家庭教育委員会活動報告

家庭教育委員会副委員長：岡田 真由美



三重県では今年度、家庭教育の充実を図るための「家庭生活応援プロジェクト」が始まっています。これは近年少子化の進行や共働き家庭の増加などで、家庭を取り巻く環境が変化中、「教育の原点」である家庭教育の充実の必要性が高まってきたため応援方策の検討を進め始めたものです。

家庭教育委員会の活動においても、「ファミリープログラム」を体験し子育ての悩みを分かち合うことができました。また、男性の子育て応援講座を開催し、コーチングスキルの基づく「親子のコミュニケーションの在り方」を学びました。ワンオペの育児について、男性と女性でのイクメンの定義の違い、良いコミュニケーションのための3大スキル「傾聴・承認・質問」が大切ということなど、とても良い学びの場になりました。

私たちも、さまざまな活動、学びを通じて家庭教育の充実を図っていきたいと思います。

平成29年度

三重県幼小中・高PTA研修会



平成29年10月17日、三重県生涯学習センターにおいて「三重県幼小中高PTA研修会」が開催されました。この研修会は幼・小・中・高段階での子育てに、またPTA相互の連携の促進や資質の向上に

役割立つことを期待して毎年開催しているものです。

本年度は、現在スクールカウンセラー・スーパーヴァイザーとして活躍しておられる森川 泉様をお招きし、「我が子への関わりにあたって」と題して講演を行なうて頂きました。15年間にわたり教育相談の現場に携わり、三重県の教育相談体制



づくりに尽力された氏の講演という事もあり、平日にも関わらず多くの方にご参加頂きました。

講演内で「我が子の経験談を交えながら、親子として子育てに関わる時期を幼児期・児童期・思春期などに分けて、それぞれ

それぞれの時期に親としてとってしまいがちな言動を課題として挙げ、より良い対応などを学んでいきました。

特に親は子どもが小学生の時期に、「早く起きなさい」や「早く食べなさい」といった



た行動を急かす言葉を使い、次に「宿題をしなさい」や「勉強をしなさい」といった努力を急かす言葉を使ってしまう、どうやって主体的な行動を促しながら思春期まで育てていくか、というお話は多くの保護者にとって興味のあるテーマの一つでした。

子どもたちは成長する過程で多くの課題に向かい合う事になります。そのような時、どのように親・家庭が課題克服の大きな支えになつていけるか。当日の講演の言葉を借りすれば「失敗もチャラにできるベースとしての家庭」をどう築いていくかを学んだ一日となりました。

三重 平成29年度 三重県PTA研究大会

開会式・記念講演



三重県PTA研究会は、県内各地のPTA活動の現状や課題を話し合い、また子ども達を取り巻く環境が大きく変わりゆくなかでの新しい活動の取り組みなどを紹介する場となりました。

開会式に引き続き、女優であり、戸板女子短期大学客員教授でもあります菊池桃子氏を講師としてお招きし、「夢をつむぐ子育て」く未来を拓く子どもたちのために、今、わたしたちがすべきことと題し、基調講演を開催致しました。

平成29年12月2日(土)三重県総合文化センターにて、第一回三重県PTA研究大会が開催されました。

本大会で経験したことや今後の糧として、来年開催されます大会を無事成功に導けるよう会員相互の協力をもって、より結束したPTAを生まねばならないと確信しております。



三重県PTA連合会優秀賞のみなさん

- List of award winners for elementary, middle school, and general categories, including names and schools.

平成30年度 三重県PTA研究大会の開催予定. Includes date (Nov 23), venue (三重県総合文化会センター), and content details.

「マイストーリー・ワークショップ」第2分科会. Details about the workshop led by Naoki Uemura, including a list of participants and a photo of the workshop.

「高校野球を通して子どもたちに伝えていること」第3分科会. Details about the workshop led by Kenji Miyamoto, including a list of participants and a photo of the workshop.

第65回日本PTA全国研究大会

宮城県 仙台大会

平成29年8月25日、26日に宮城県仙台市にて、第65回日本PTA全国研究大会が開催され、三重県からは39名が参加しました。初日は市内10会場に用意された各分科会に参加しました。東日本大震災から7回目の夏を迎え開催された今回の大会。分科会にも震災の経験から学びを活かして「繋がっていく地域とPTAの在り方」など、特色ある分科会が用意されていました。その中の一つ「多くの仲間と活動できるPTA活動を求めて」を課題とした分科会に参加しました。社会の変化により共働き世帯が増え、保護者の方々もPTA活動への参加も協力的な方もいるのは、ほとんどのPTAでの課題ではないかと思えます。基調講演では、NPO法人 コジカラ・ニッポン代表 川島 高之氏より、子育てや家事（ライフ）、商社勤務や会社社長（ビジネス）、PTA会長（ソーシャル）の3つの経験を活かした講演を頂きました。PTA活動の10大メリット（知人、友人が増える。先生方と親交が深められる。学校教育に参画できる。視野が広がる等）を伝えていくこと、必要性がなくなってきたことの見直し、廃止。PTA会合の日時の調整。それぞれの地域でのPTA組織の在り方は、周りの環境（家庭、地域、学校、先生等）を考慮し変化させて参加しやすい環境をつくる事が大切であると感じました。PTA活動は学校の先生方に頼りすぎず極力、保護者の皆さんで行う、地域の方々には、子供たちから感謝の意を伝える場を用意する、子供たちのことは、子供たちに決めさせる等、参考にしていきたい話を沢山、吸収する事が出来ました。2日間参加させて頂き、共通で感じた事は開催地である仙台のスタッフの皆さん歓迎が素晴らしかったです。震災により、一瞬で多くの大切なものを失い、復旧復興をあゆんできた皆さんが一丸となって素晴らしい大会をつくりあげていると感じました。



第66回日本PTA全国研究大会

新潟県 新潟大会

平成30年8月24日(金)・25日(土)



第73回日本PTA東海北陸ブロック研究大会

福井県 敦賀大会

平成29年10月7日(土)に開催された「日本PTA東海北陸ブロック研究大会福井県敦賀大会」の第1分科会（家庭教育A）に参加しました。分科会課題は「共に笑う家庭教育」という内容で、農村部の児童数53人の小学校と、都市部の15クラスの中学校という対照的な規模の単Pの実践発表がありました。



ひとつめは福井県勝山市三室小学校の「自立の根っこを育てる」取り組み。このPTAは世帯数35で、全保護者が何かの専門委員会に所属しており、行事への参加だけでなく地域活動にも積極的に参加しているという全員参加のPTA組織です。活動として、世の中にあふれる情報がどのように届くか学んだ親子壁新聞作り、防災について親子や地域で話合える取組みとしての親子で考える防災対策、食べる事への感謝やお手伝いの大切さを学び男女共同参画社会を実感する親子おにぎり作り大会などを実施し、親子での参加を通じて笑顔に触れ、子ども達の自立を感じる事ができたとお話でした。

もうひとつは、名古屋市千種区東星中学校の「笑顔あふれる子ども達のために」という取組み。こちらは、「全員参加のPTA」を目指し、9割の世帯がサポーター登録し行事に積極的に参加し学級委員の負担を軽減していること。家庭教育セミナーや家庭で行う親学アクション事業により、子どもの脳にやる気物質ドーパミンを発生させることや、親子コミュニケーションにつなげるため「笑う」「褒める」「食べる」など、子どもや家庭の笑顔を増やす活動をしたとお聞きしました。物事を変えるには心を変えることが第一歩。しかし心を変えるのは難しい。でも、笑いから始めればOK。笑う事にはデメリットが無い。笑いこそ心を変える近道とお話でした。

どちらも子ども達の笑顔の為に、PTA会員である保護者が、出来る範囲で全員参加型の活動をおこなっていることの紹介であり聞きごたえがありました。そして、発表者のお二人も日頃から「笑う」ことを実践されているようで、分科会の時間中も笑いが絶えない素晴らしい雰囲気を体験し、私自身も笑いで元気になりました。



第74回日本PTA東海北陸ブロック研究大会

愛知県 愛知大会

平成30年10月19日(金)・20日(土)



日本PTA東海北陸ブロック研究大会三重大会 シンボルマーク募集

平成31年10月に第75回日本PTA東海北陸ブロック研究大会三重大会が、開催決定しました！大会のシンボルマークを広く募集いたします。

【内容】 日本PTA東海北陸ブロック研究大会三重大会スローガンにふさわしいシンボルマーク

【募集資格】 三重県PTA連合会会員、園児・児童・生徒で未発表作品に限る
※原則としてお一人様各3作品までとします
※作品の使用権は三重県PTA連合会帰属するものとします

【応募方法】
・A4サイズで白色用紙（たてよこ自由）、1枚につき作品1点を応募してください
・作品を三重県PTA連合会に、郵送で、シンボルマーク作品、郵便番号、住所、氏名、所属学校、電話番号を明記の上、応募下さい

【申し込み】 下記の申し込み先までお申し込み下さい

【申し込み〆切】 平成30年3月30日（金）

【賞】 シンボルマーク最優秀賞 1作品
賞状と図書カード 5,000円分を贈呈

【表彰】 三重県PTA研究大会全体会で表彰式を行います

参考 他県のマーク



名古屋大会



石川県小松市大会

参考 他県のスローガン

名古屋大会 ~NaGoYaかに奏でよう♪
家庭・学校・地域のハーモニー~
石川県・小松大会 「智・仁・勇」
の心から始まる未来への物語

申込先・問い合わせ先

三重県PTA連合会事務局
〒514-0061
津市一身田上津部田1234 三重県生涯学習センター 2F
アドレス: mie-pta@pcs.ne.jp
HP http://miepta.com
TEL 059-233-1163 ・ FAX 059-233-1164

「ワンランクアップの広報紙づくり」

第1分科会

三重県総合文化会館・大会議室にて、平成29年度三重県PTA研究大会 第一分科会「ワンランクアップの広報紙づくり」が開催されました。講師には中日新聞社NIE事務局長の遠藤健司氏をお招きしご講演頂きました。本講演で見出しやレイアウトの重要性や記事の書き方などワンランクアップの知識を学んで頂く事が出来ました。また前回の広報紙コンクールにて受賞された作品を題材に、各紙面のポイントなども分かりやすくご説明頂きました。本講演で、広報紙はPTA活動の良さを広くアピールし、より多くの人に活動への関心を持って頂くツールとして非常に有効であることを再認識することのできる講演でした。



広報委員長 山羽賢多郎



第45回 三重県教育県民集会 三重の教育を考える集い

平成29年11月19日、三重県教育関係団体懇談会（以下、六者懇）主催による第45回三重県教育県民集会く三重の教育を考える集いが松阪市嬉野ふるさと会館で開催されました。

開会行事にて、まず主催者あいさつとして六者懇会長松山安利（三重県PTA連合会会長）より六者懇の活動紹介と日頃からご支援頂いている皆様へのお礼の言葉がありました。そして会長より鈴木英敬三重県知事・廣田恵子三重県教育委員会教育長に対して教育要望書を提出しました。

その後「いじめ問題を考える」―子どもたちの叫び―大人の声から―と題して、大河内祥晴さんを講師としてお招きして講演を行いました。いじめによりお子さんを亡くされた大河内さんは、事件後、自身の経験や交流を持ったいじめに苦しむ子どもたちの思いを伝え、「いじめの残酷さ、命の大切さ」を一緒に考えてもらう活動を各所で続けられています。当日の講演も実際に大河内さんが接してきた様々な子どもたち（いじめを受けた側、いじめに参加した側、周りで見過ごしてきた側）の声や周囲の大人（社会）の対応などを、その時々のお話を紹介しながらお話いただきました。いじめ問題は、多くが保護者として教



育者として子どもに直に接する「大人」である参加者にとって重いテーマであり、また平日頃から話し合っていないかなければならないものです。その事を改めて考えさせられた講演でした。

平成29年12月末までの傷害事故内容は、左表のとおりです。今年度も、球技大会及び球技大会練習中の事故が、半数ちかくを占めています。注意を払っても避けられない事故もあり

平成29年度災害報告（平成29年12月31日現在）



第33回 三重県幼少中PTA広報紙 コンクールのお知らせ

対象 平成29年4月から平成30年3月までに発行された広報紙。 ※但し、年間2回以上発行のこと

募集方法 平成30年3月16日（金）までに応募作品を各郡市P連事務局へ提出する。

作品審査 審査日：平成30年4月7日（土）

審査基準 PTA広報紙のもつ目的、使命、記事、編集、レイアウト、見出し、文章、発行回数など。

入選作品の表彰 平成30年5月26日（土）の予定

三重県PTA連合会 会長賞

中日新聞社賞

優秀賞（三重県PTA連合会賞）

佳作（三重県PTA連合会賞）



東海北陸ブロックPTA安全互助会 情報交換会

平成29年12月8日（金）に名古屋市（名古屋市クラウンホテル）にて第16回東海北陸ブロックPTA安全互助会の情報交換会が開催されました。

東海6県1市から34名が参加し、三重県PTA安全互助会から5名が参加しました。各地の事業報告書等の資料交換の後、各地区からの事業報告や運営課題等の協議・情報交換がなされた。

災害場所	球技大会	運動会	体育祭	水泳プール開放	親子ふれあい活動	清掃・奉仕作業	ラジオ体操	学年・学級行事	球技大会練習	その他PTA行事	計
アキレス腱断裂	3								2	3	3
けが	1	1								2	2
その他ひび・骨折									1	1	1
その他筋・腱損傷	5	3								8	8
ねんざ		1		1	1			1	2	6	6
下肢骨折									2	2	2
関節炎									1	1	1
腰痛										1	1
挫傷							1			1	1
上肢骨折		4						1		5	5
打撲	4	2	1						3	11	11
打撲・断裂		3			3				1	7	7
虫さされ										9	9
肉離れ			1							1	1
熱中症					1					1	1
脳挫傷・脳症					1					1	1
皮膚炎・やけど						1				1	1
目のけが・炎症									1	1	1
目のけが・炎症										5	5
裂傷・刺し傷		1								1	1
咬傷										1	1
計	16	13	1	6	1	16	1	2	14	2	72

24時間補償!! 三重県PTA こども総合保障制度

県PTA連合会では、PTA会員のお子さまを対象とした団体保険契約を従来より行っております。

これは、県下の実績を持つ損害保険会社3社の共同保険であり、団体割引・過去の損害率による割引が適用されます。

★引受保険会社

- AIG損害保険株式会社
- 東京海上日動火災保険株式会社
- 損害保険ジャパン日本興亜株式会社
- 平成29年度は、15,000名以上の方が加入しています。

【ご加入に関するお問い合わせ】

AIG損害保険株式会社 三重支店

〒514-0036 三重県津市丸之内養正町4-1 森永三重ビル2階
TEL: 059-226-3911 <http://www.aig.co.jp/sonpo>
受付時間/土・日・祝日・年末年始を除く 午前9:00~午後5:00

A-000710 2018-02

一般社団法人 三重県PTA安全互助会 災害補償制度のご案内

★平成29年4月1日（土）より一般社団法人となりました。

共済・保険の種類（補償内容は従来どおりです）

傷害共済、PTA賠償責任保険

○共済金・保険金を受けられる対象者と期間

対象者

- ◆PTA会員（会員の代理可）、協賛会員
- ◆加入PTAの所属園児・児童・生徒、および同居の親族

期間

- ◆平成30年4月1日～平成31年3月31日

PTA活動充実発展のためには、各種活動中に生じる事故を防止し、安全教育を徹底するとともに安心して活動できる体制が必要です。そこで本会は、会員がPTA活動中の未然に防ぐことができない事故により災害を受けた場合、一定の補償をし、なお一層円滑な活動の運営を図るために設けられました。

※当制度は、会員の皆さんの会費で成り立っています。

単位PTAの手続きです

共済契約手続きについて

- ①共済契約申込み（見込み人数報告） 毎年**3月24日**締切
- ②共済契約（確定人数報告・共済掛金振込） 毎年**5月22日**締切

〒514-0061 津市一身田上津部田1234 三重県生涯学習センター2F
一般社団法人 **三重県PTA安全互助会**
TEL: 059-233-0910 FAX: 059-233-1164

当災害補償制度のお申込み方法等詳細につきましては、上記へお問い合わせください。